

令和8年度 北海道デイサービスセンター協議会
認知症介護実践研修(実践者研修)及び認知症対応型サービス事業管理者研修
事業実施要綱兼受講者募集要項

1 目 的

北海道デイサービスセンター協議会では、北海道・札幌市において認知症介護実践研修実施機関の指定を受け、認知症介護の専門的知識・技術習得機会の推進を目的として下記の研修事業を実施する。

【認知症介護実践研修（実践者研修）】※以下「実践者研修」

認知症の方がその有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、認知症介護実務者に対し、認知症の方の介護に関する知識や技術の修得を図り、福祉専門職として、求められる多様なサービス形態に対応しながら、介護現場で実践できる専門職員を養成し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とする。

~~【認知症対応型サービス事業管理者研修】※以下「管理者研修」~~

~~認知症対応型デイサービスセンター等の管理者の方に対し、認知症介護や、事業所を管理・運営していくための理念及び知識、技術の修得などを図り、認知症の方に対する介護サービスの充実を図ることを目的とする。~~

2 目 標

- ①道内デイサービスセンターにおける認知症への理解を深める。
- ②認知症の正しい理解と予防等について学ぶことにより、生活環境を活かした認知症高齢者の自立支援の展開を図る。
- ③認知症介護の専門職として、自身の認知症介護に関する理念を再確認し、自身の認知症介護の知識と技術の検証を行い、その検証に基づいて「新しい気づき」や「見極め」の技能を修得する。
さらに、自身の介護現場において、認知症介護の知識と技術を実践的に展開できる力を習得する。

3 主 催 北海道デイサービスセンター協議会

4 共 催 北海道老人福祉施設協議会
一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会

5 研修対象者

【実践者研修】

認知症介護業務に従事する職員で、身体介護に関する基本的知識・技術を修得し、介護保険事業所において認知症介護業務に受講日までに2年以上従事した経験を有し、次の①又は②の要件に該当する方。

- ①開設予定又は既存のデイサービスセンターにおいて通所介護計画作成業務に従事する予定の方。
- ②介護保険施設・事業所等に従事する介護・看護職員等であって、介護福祉士あるいは同等以上の能力を有する方。（受講日現在）
または、居宅介護支援事業所等で居宅サービス計画等の作成に従事する介護支援専門員であって、認知症の利用者に係る計画等の作成に従事した経験を有する方。（受講日現在）

【管理者研修】

『認知症介護実務者研修(基礎過程)』または『認知症介護実践研修(実践者研修)』を修了されている方で、今後開設予定、または既存のデイサービスセンター、またはその他の介護保険施設・事業所等において管理者に従事する予定の方。

申込書と併せて、実践者研修修了証書のコピーを必ず添付してください。

6 定員数

60名 ※北海道デイサービスセンター協議会、北海道老人福祉施設協議会及び
(幕別会場) 北海道認知症グループホーム協会の会員を優先し、非会員については
30名 先着順とします。

(オンライン) ※オンライン会場は上記に加え、札幌市・石狩地区以外の方を優先する場合があります。

7 研修内容 ※詳細は別添カリキュラムをご参照ください。

実践者研修

【講義・演習】 4日間 (1440分/24時間)

【実習】 他施設実習 … 1日 (日程については、講義・演習を受講後に実施)

職場実習 … 4週間(各自で設定し、受講者所属の施設にて実施)

※実習内容等の詳細は、カリキュラムをご参照ください。

※他施設実習については、令和6年3月13日付高 福 第 3362 号 及び
札介保第 3330 号にて、「北海道(札幌市)認知症介護実践 研修実施要
綱」が一部改正され、他施設実習の取扱いを「受入先施設の状況等に応じ
て、当面の間、他施設実習を延期又は自施設実習で代替するなど、柔軟に
取り扱って差し支えないこと。」としていたため、令和7年度は他施設実
習を自施設実習にて代替実施しましたが、今後新たに道・札幌市より発
出される通知の内容により、他施設実習の取扱いは変更になる場合があり
ます。

【実習の評価】 1日間

管理者研修

【講義・演習】 2日間 (600分/10時間)

8 研修日程・会場

実践者研修

第1回 幕別会場

【講義・演習(前期)】

日程：令和8年5月28日(木)～5月29日(金)

会場：幕別町百年記念ホール・講堂 [中川郡幕別町字千住180番地の1]

【講義・演習(後期)】

日程：令和8年6月11日(木)～1

会場：幕別町百年記念ホール・講堂 [中川郡幕別町字千住180番地の1]

【実習評価】

日程：令和8年7月30日(木)

会場：幕別町百年記念ホール・講堂 [中川郡幕別町字千住180番地の1]

終了しました

第2回 オンライン・札幌会場

【講義・演習(前期)】

日程：令和8年12月3日(木)～4日(金)

会場：ZOOMによるオンライン実施のみ

【講義・演習（後期）】

日程：令和8年12月17日（木）～18日（金）

会場：ZOOMによるオンライン実施のみ

【実習評価】

日程：令和9年2月19日（金）

会場：かでる2.7 10階 1060会議室〔札幌市中央区北2条西7丁目1番地〕

※実習評価は、集合で実施します。（オンラインでの実施はありません）

管理者研修

第1回—幕別会場

~~【講義・演習】~~

~~日程：令和8年7月30日（木）～31日（金）~~

~~会場：幕別町百年記念ホール・講堂〔中川郡幕別町字千住1〕~~

~~※同日に開催される認知症介護実践研修(実践者研修)の《実習評価》を
開講しますので、カリキュラムの時間重複はありません。~~

~~※管理者研修は、幕別会場のみとなります。~~

終了しました

研修を

9 受講料

①【実践者研修】

北海道デイサービスセンター協議会会員	15,000円
北海道老人福祉施設協議会会員	15,000円
北海道認知症グループホーム協会会員・賛助会員	20,000円
非会員	25,000円

②【管理者研修】※「認知症介護実務者研修(基礎過程)」及び「実践者研修」修了者

北海道デイサービスセンター協議会会員	5,000円
北海道老人福祉施設協議会会員	5,000円
北海道認知症グループホーム協会会員・賛助会員	15,000円
非会員	20,000円

③【実践者研修】【管理者研修】を同時受講の方

北海道デイサービスセンター協議会会員	18,000円
北海道老人福祉施設協議会会員	18,000円
北海道認知症グループホーム協会会員・賛助会員	30,000円
非会員	35,000円

○ 受講料のお支払いについて

受講決定通知に「受講料のお支払いについて」と「振込依頼書」を同封しますので、指定期日までに必ず指定口座にお振込ください。

10 申込方法（郵送のみ）

11「注意事項」にご留意の上、次に記載する書類を所属する事業所等の代表者を通じて、申込期間内に、北海道デイサービスセンター協議会事務局へ郵送にて提出してください。

なお、書類の不備や不足、FAXやメールでの申込は**無効**とします。

《実践者研修》

- ☐ (様式1) 受講依頼書 (管理者研修と共通)
- ☐ (様式2) 受講申込書 (管理者研修と共通)
- ☐ (様式3) 研修における自己課題の設定 ※受講者選定の際の参考とします。
- ☐ (様式4) 実務経験証明書
- ☐ (様式5) 他施設実習 実習生受入日程調整表 (★)
- ☐ (様式6) オンライン受講チェックシート ※第2回オンライン・札幌会場申込時のみ

《管理者研修》

- ☐ (様式1) 受講依頼書 (実践者研修と共通)
- ☐ (様式2) 受講申込書 (実践者研修と共通)
- ☐ (様式5) 他施設実習 実習生受入日程調整表 (★)
- ☐ 認知症介護実務者研修(基礎過程)又は認知症介護実践研修 修了証書の写し

(★)今年度は他施設実習を自施設実習に代替しているため記入不要です。

○ 申込受付期間

第1回 (幕別会場)

令和8年4月13日(月)必着

第2回 (オンライン・札幌会場)

令和8年7月1日(水)～9月30日(水)必着

※令和8年10月28日(水)
必着 まで延長します。

受付延長期間内は先着順とし、定員に達し次第、受付終了いたしますので予めご承知おきください。

※会員を優先し、非会員については原則先着順とします。

※オンライン会場は上記に加え、札幌市・石狩地区以外の方を優先する場合があります。

※必ず上記の受付期間を厳守してください。期間外のお申込は受付できません。

また、電話等での申込予約は受付しておりません。

※受講の可否については、申込締切後 2週間程度で「受講決定通知書」を郵送いたします。

○ 受講のながれ

① **受講申込** 提出書類に必要事項をもれなく記入し、押印の上、申込締切までに郵送してください。

② **受講決定** 受講要件等の審査をし、申込締切後2週間以内に所属先へ決定通知を送付します。受講料を指定する期日までに振り込んでください。

※定員を超える場合は、受講できない場合がございます。

※振込期日 (予定)

・第1回 …… 5月11日(月)まで

・第2回 …… 11月27日(金)まで

③ **研修日程** 【実践者研修】

第1回 幕別会場

決定通知、出席カード等必要書類を持参して受講してください。

第2回 オンライン・札幌会場

後日お知らせする ZOOM アドレスより入室し、オンラインにて受講してください。

【管理者研修】

出席カード等必要書類を持参し、会場にて受講してください。

スケジュールは、各カリキュラムを参照ください。

※【実習評価】は、会場によって開催時間が異なりますのでご注意ください。

- ④ **修了証書** 実践者研修については、北海道デイサービスセンター協議会会長名の修了証書を、実習評価終了後に交付します。
~~管理者研修については、北海道知事名の修了証書が交付され、約1か月程度で郵送します。~~

11 注意事項

- ◆ 本研修カリキュラム(実習評価含む)のうち1つでも出席できない場合は受講できません。また、研修期間中に遅刻・早退・欠席した場合は、修了証書を発行いたしません。
- ◆ 北海道デイサービスセンター協議会、北海道老人福祉施設協議会及び北海道認知症グループホーム協会の会員・賛助会員を優先します。
- ◆ 同事業所より2名以上申込む場合は、申込み書類を複写してください。
なお、オンライン会場については、1事業所1名のための申込とします。
- ◆ 決定した受講者の変更・辞退は認めません。
- ◆ 「認知症介護実践者研修」のテキストが「株式会社ワールドプランニング」と「中央法規出版株式会社」より発売されております。
本会研修受講にあたり購入を必須といたしません、研修内容の理解を深めるためにご購入されることをお勧めいたします。
- ◆ 第2回の実践者研修は、ZOOMを使用したオンラインにて実施します。
事前に「ZOOM ミーティング」の無料アカウントを作成しておいてください。
長時間オンライン研修を受講できる環境の準備をお願いします。
また、「オンライン受講チェックシート」の要件をご確認の上申込ください。
詳細は、巻末の「オンライン受講にあたっての注意事項」をご覧ください。

12 申込・問合せ先

【北海道デイサービスセンター協議会事務局】

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2. 7 2階

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会 法人・施設支援部 施設支援課内

北海道デイサービスセンター協議会事務局（担当：中島・西野）

TEL 011-241-3766

FAX 011-280-3162

MAIL daykyo@dosyakyo.or.jp

オンライン受講にあたっての注意事項

必要機器等及び受講環境

- ◆ 必要機器：パソコン（Windows）、WEBカメラ、マイク、スピーカー
（パソコンには、PDF の閲覧、Word・Excel ファイルを編集できる
ソフトがインストールされている、又は同等の機能があること）
- ◆ 受講環境：インターネットに接続でき、周囲に人がおらず音漏れの心配がない場所
 - ・スマートフォンやタブレットは、画面が小さく資料等を確認しにくく、研修に必要な操作も難しいため、禁止します。
 - ・WEBカメラ、マイク、スピーカーが内蔵されたパソコンでも可能です。
 - ・使用するパソコンにWEBカメラ、マイク、スピーカーが内蔵されていない場合は、別途用意する必要があります。
 - ・受講確認のため、研修中は常にカメラをONにして受講してもらいます。
 - ・周囲の音声が漏れることを防ぐために、周囲に人がおらず音漏れの心配がない場所（他の職員のいない個室等）での参加をお願いいたします。
 - ・また、研修中は受講者に声をかけない等の配慮をお願いいたします。
 - ・同じ場所で複数のマイクやスピーカーを使用すると、ハウリングが発生する可能性があります。
 - ・Zoomへの参加が初めての方は、事前に下記URLより接続テストを行っていただくことを推奨いたします。〔Zoomテスト〕 <https://zoom.us/test>
 - ・Zoomの操作方法に関する問合せにつきましては、Zoomヘルプセンター等をご確認ください。〔Zoomヘルプセンター〕 <https://support.zoom.us/hc/ja>
 - ・研修時の操作や連絡先等につきましては、後日改めてメールにてお知らせいたします。
 - ・研修時に受講者の方に「画面共有」機能を使用してもらい、講師に作成した資料を見てもらう場面があります。研修数日前に「画面共有」機能や接続テスト等の練習の場を設ける予定ですので、日程等が決まりましたら、メールにてお知らせいたします。
 - ・適宜メールにてご連絡する場合がございますので、定期的にメールをご確認いただきますようお願いいたします。また、申込書に記載するメールアドレスは、間違いのないように確認してください。

留意事項

- ・研修内容を録画しますので、予めご承知おき願います。
- ・1事業所からは、1名のみのお申込とします。
- ・通信状態の安定のため、有線LANでの受講を推奨いたします。
- ・研修期間中に遅刻・早退・欠席した場合や長時間席を離れるなど研修を受講したと認められないと判断した場合、修了証書は発行されませんのでご了承ください。
ただし、通信状況の不具合による不測の事態については、事務局に連絡したうえで30分程度の中断は認めることとします。

禁止事項

- ・本研修の録画・録音・撮影および資料の二次利用、SNS等への投稿は固くお断りいたします。
本研修内容の盗用が発覚次第、著作権・肖像権侵害等として対処するとともに、修了証書の発行を取り消します。
- ・Zoom入室に係る情報（URLやミーティングID・パスコード）等は、本研修参加者のみ利用可能です。それ以外の者との共有は禁止します。

北海道デイサービスセンター協議会

令和8年度認知症介護実践研修（実践者研修）

カリキュラム

※ 受講生は事前にカリキュラムを確認してください。

○講義・演習：24 時間（1,440 分）

○実習：課題設定 240 分、職場実習 4 週間、実習のまとめ 180 分

【前期】

1 日目／時間	科目	目的	内容
09：20～09：30 (10 分)	オリエンテーション		
09：30～12：30 (180 分)	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史の変遷や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状（BPSD）の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。	○認知症ケアの理念と我が国の認知症施策 ○認知症に関する基本的知識 ○認知症ケアの倫理 ○認知症の人の意思決定支援 ○自己課題の設定
12：30～13：30 (60 分)	昼休み		
13：30～18：30 (300 分)	生活支援のためのケアの演習 1	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。	○生活支援のためのケア ○認知症の生活障害 ○認知症の人の生活環境づくり ○中核症状の理解に基づくコミュニケーション ○生活場面ごとの生活障害の理解とケア

2 日目／時間	科目	目的	内容
09：30～10：30 (60 分)	QOL を高める活動と評価の観点	認知症の人の心理的安定や QOL（生活・人生の質）向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。	○アクティビティの基礎的知識と展開 ○心理療法やアクティビティの評価方法
10：40～12：10 (90 分)	家族介護者の理解と支援方法	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。	○家族介護者の理解 ○家族介護者の心理 ○家族介護者の支援方法
12：10～13：10 (60 分)	昼休み		
13：10～14：40 (90 分)	権利擁護の視点に基づく支援	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	○権利擁護の基本的知識 ○権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束 ○権利擁護のための具体的な取り組み
14：50～16：50 (120 分)	地域資源の理解とケアへの活用	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。	○認知症の人にとっての地域資源と実践者の役割 ○インフォーマルな地域資源活用 ○フォーマルな地域資源活用 ○地域資源としての介護保険施設・事業所等

【後期】

3 日目／時間	科目	目的	内容
09：30～10：30 (60 分)	学習成果の実践展開と共有	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を得る。	○認知症の本人の声を聴く (自施設・事業所における実践) ○事例収集 (自施設・事業所における実践) ○中間課題の発表と共有
10：40～12：40 (120 分)	生活支援のためのケアの演習 2（行動・心理症状）①	認知症の行動・心理症状（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。	○行動・心理症状（BPSD）の基本的理解 ○行動・心理症状（BPSD）の発症要因とケアの検討（事例演習） ○行動・心理症状（BPSD）の評価 ○生活の質の評価
12：40～13：40 (60 分)	昼休み		
13：40～15：40 (120 分)	生活支援のためのケアの演習 2（行動・心理症状）②	①と同じ	①と同じ
15：50～17：50 (120 分)	アセスメントとケアの実践の基本①	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。	○認知症の人のアセスメントの基礎的知識 ○観察の方法とポイント ○アセスメントの実際（事例演習） ○実践計画作成の基礎的知識 ○実践計画作成の展開（事例演習） ○実践計画の評価とカンファレンス

4 日目／時間	科目	目的	内容
09：30～12：30 (180 分)	アセスメントとケアの実践の基本②	①と同じ	①と同じ
12：30～13：30 (60 分)	昼休み		
13：30～17：30 (240 分)	自施設及び他施設実習の課題設定	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。	○実習のねらい ○対象者選定 ○課題設定 ○4 週間の行動計画の作成
17：30～17：50 (20 分)	研修のレビュー（振り返り）		

【実習評価】

実習評価／時間	科目	目的	内容
【第 1 回幕別】 9：30～12：30 【第 2 回オンライン・札幌】 13：30～16：30 (180 分)	自施設実習及び他施設実習評価	アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場および自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。	○実習報告 ○ケア実践計画の評価 ○職場への報告と展開